※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１９

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎発展	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	セミナーノート化学　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2 年生の化学基礎発展では、1 年生の続きを勉強した後、有機化学の分野を勉強します。有機分野は、食料品や医薬品など身のまわりの物の正体に迫っていく分野です。1 つ 1 つの知識の積み重ねが大切です。

2　学習の到達目標

化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見いだし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の変化	酸化剤・還元剤 金属イオンの傾向と反応性 電池・電気分解	a:酸化還元の定義を理解している。 b:反応するものとしないものの違いを考察し、導き出した考えを表現している。 c:錆や漂白剤について知識を基にその性質を考え、意欲的に探求しようとする。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 ワークシート 実験レポート	提出ノート ワークシート 振り返りシート
2学期	有機化合物	有機化合物の特徴 有機化合物の分類 飽和炭化水素 不飽和炭化水素 アルコールとエーテル アルデヒドとケトン カルボン酸とエステル	a:飽和・不飽和、官能基の違いによる有機化合物の性質の違いを理解し、知識を身に付けている。 b:官能基による性質の違いについて科学的に考察し、導き出した考えを表現している。 c:アルカンの性質に関心をもち、意欲的に探求しようとする。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 ワークシート 実験レポート	提出ノート ワークシート 振り返りシート
3学期	有機化合物	構造式の決定 芳香族炭化水素 酸素を含む芳香族化合物 窒素を含む芳香族化合物	a:芳香族化合物の性質を理解し、知識を身に付けている。 b:これまでの学習から様々な有機化合物を科学的に考察し、分類できるようになっている。 c:市販の鎮痛剤などの芳香族炭化水素に関心をもち、意欲的に探求しようとする。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 ワークシート 実験レポート	提出ノート ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度